

2020年10月16日

東京都が発行するグリーンボンドへの投資について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、この度、東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資を実施しました。

グリーンボンドは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券で、本債券は国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」に適合していることが、第三者評価機関である ISS ESG から取得したセカンドオピニオンにて確認されています。

東京グリーンボンド発行による調達資金は、気候変動への適応、スマートエネルギー都市づくり、生活環境の向上に関連した事業等に充当される予定です。

当社では、過去にも環境債（グリーンボンド）や社会貢献債（ソーシャルボンド）、ESG投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

名称	東京グリーンボンド（30年）第4回債
発行体	東京都
格付	A+（S&P）
発行総額	100億円
償還期間	30年

以上